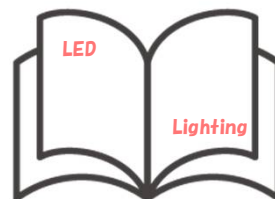


LIGHTING WORKS

Proposal

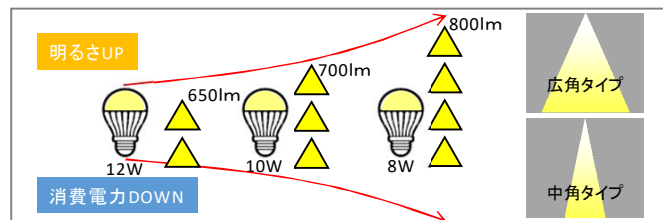
照 明 提 案

照明器具の選び方、照明の単位、クルーズフ効果



LED器具最新情報

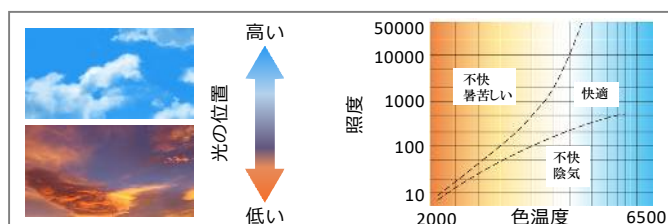
各メーカーから年に2回のペースで発表されるLED照明。器具効率もどんどん上がり、同じ明るさでも5年前と比べると約半分の消費電力で同じ明るさが得られる時代。ワット数で選ぶ時代は終わり、ルーメン数で器具を選定する。それに加え、ひかりの広がり方を示す配光角度や調光の有無を検討する等、幅広い知見が求められます。



照明の基礎を学ぶ スキルアップサポート

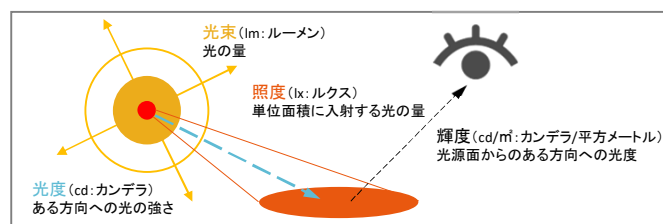
日常生活に密着する 「クルーズフ効果」

直感的に感じるひかりの感覚。それが「クルーズフ効果」。ろうそくの灯り。1本であれば心地良い灯り。100本ままとすると暑苦しい。ドラッグストアの白い光。沢山あれば清潔感を感じられ、暗いトンネルに1本であれば薄暗く陰気で怖い。これには、「色温度」と「照度」が関係する。



最低限知っておく、照明単位と照明用語

照度・ルーメン (lm)、色温度・ケルビン (k)、演色性 (Ra)、配光角度、調光、コーブ照明、コーニス照明、明るさ感、グレアレス (眩しくない照明)、電源ドライバー。これらの単位や用語は理解しておく、スムーズな受け答えが出来るでしょう。



コンセプトに合わせた空間デザイン + 灯り

暮らす方の趣味嗜好に合わせた空間提案を行う際、
1.床壁天井の色や素材 2.家具 3.小物 4.大きさ
や配置を主に考えますが、それらを引き立てる役割と
効果を発揮するのが「灯り」 例えば、天井に照明が
無くても、小さな灯りを随所にちりばめれば、心地良
い空間を作ることができます。調光スイッチを組み合
わせると尚良いでしょう。



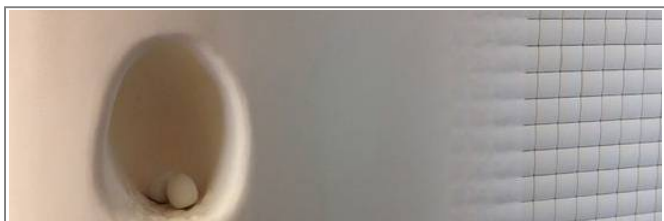
建築に合わせて考える照明設計

天井を少しだけ下げて、その段差に照明器具を仕込む。
天井を折り上げて照明を仕込む。カーテンボックスに
照明器具が入るスペースを作る。 ニッチや棚板に照
明を仕込む……。 いずれも建築や造作に絡めた照
明設計。 照明設計に合わせて回路設計も同時に行
う事が成功の秘訣。 現場監督さんや電気工事屋さん
との連携も大切です。



ワンポイントのプロダクトデザイン

ルーバーに照明を仕込んでみたり。 壁にライン型の
器具を埋め込んでみたり。 影を作ってみたり。 明
るさを確保する機能としての役割ではなく、演出材料
としてデザインする。 わずかな灯りがこだわりのワ
ンポイントを際立たせることが出来る。 お気に入りの
場所の演出に、「灯り」を加えてみましょう。



照明設計を知る

灯りを最適化されたトーンで計画設計！

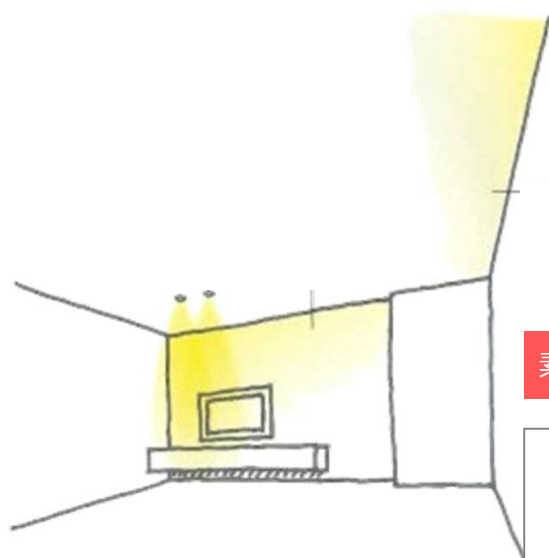


LIGHTING WORKS
Proposal

ひかりの存在を消す。そこには心地良い空間がひろがる！

LIGHTING WORKS

Proposal



間接照明を取り入れる

素材を活かすひかりを創り出す

間接照明の良いところは、1.光源を隠し、柔らかい光を楽しめる。 2.面で光りを捉えることができる。 3.素材の陰影を引き立てる事ができる。特に素材の陰影を作ることは、昼と夜の表情が変わり、素材自体を楽しむことができる事。凹凸のある素材は光りの仕込み方で見え方が変わります。照明の「力」はまるで魔法のように変化させることができるのです。



低照度でも明るく感じる「明るさ感」を創る

間接照明。カッコイイけれど暗いと言われないか心配。間接照明の計画に必ず付きまとう不安。それを払拭させるのが、「明るさ感」をつくる事。床面照度（ルクス：lx）は一旦脇に置いて、天井と壁を明るくする方法を考える。目の機能はとても高機能で、瞳孔が自動で開いたり閉じたりしてくれる。明るく感じる事が出来ればそれで良い。後は瞳孔が勝手に調整してくれます。



間接照明は早期の計画が成功のポイント！

間接照明は、照明器具を隠す（仕込む）事が前提。照明を仕込む場所を造り、電源を確保する場所や経路を考える。後から考えることは基本的に出来ません。その為、上棟後比較的早い段階で行う電気配線の時には、回路計画を決めておく必要があります。壁から配線を出す設計には、ケーブルの長さを予想したり、内装大工との連携が不可欠。早期の計画が成功のポイントなのです。



照明でアイデアが欲しい時ありませんか？

照明計画に使う予算は無いけれど・・・。 そんな経験はありませんか？ 照明器具の最適な配灯は？ 効果的な照明器具の選び方や仕込み方は？ ちょっとしたアドバイスやヒントがあれば・・・。 同じ空間はないけれど、パターンを知っておくだけでも提案の幅は広がります。



空間の価値はひかりで創りだすことができる

価値感 は人それぞれ。価値はアイデアで創りだすことが出来ます。どんなところに価値を見出すかは提案する側の引き出しの多さが効いてきます。ひかりがあるからこそ、その場所の価値が出る。しかし、光の効果が空間の価値を上げる事に気が付く人は意外と少ないもの。その場所にひかりを加えるとどうなるかを想像出来るかが価値を創り出す鍵と言えます。

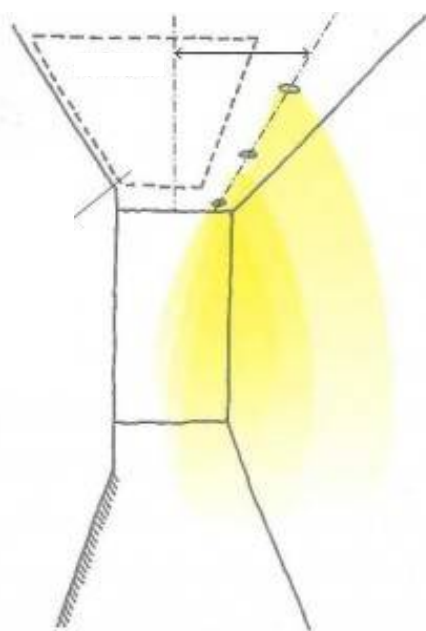


生活の質を上げる照明術！

暮らしを変える。暮らしが変わる。 照明効果で暮らしの満足度は必ず向上します。 一日の疲れを癒す夜の住環境には、照明が不可欠であり、照明効果の良し悪しは、暮らし方に直結します。 質の高い照明効果は、ちょっと贅沢な空間を作り、ちょっと自慢できる演出が可能となります。ペンダント照明のコードの色を変えるだけでも気分が上がります。



空間をデザインする



アイデアとアドバイスの提供

LIGHTING WORKS
Proposal

ひかりのコンテンツを導線に合わせて最適化！

LIGHTING WORKS

Proposal



回路設計を考える

住んでからわかるスイッチ計画の失敗

あなたの家にはスイッチがいくつ付いてますか？ 玄関、廊下、リビング、トイレ、階段・・・あらゆる場所にスイッチがあるのではないのでしょうか。導線に合わなく、電気（照明）を点けたり消したりする手間が面倒で、せっかくある照明を使っていない場所はありませんか？ 住宅設計で意外と盲点なのがスイッチ計画。暮らしをイメージしたスイッチ計画を考えましょう。



センサースwitchを活用しよう

スイッチ計画を考える上で便利なアイテムがこれ。「センサースwitch」しかし、場所毎にセンサーの種類も多く、組み合わせの選択も必要になります。少し面倒だから敬遠されがちなセンサースwitch。特に、玄関、廊下、階段、トイレは便利な場所。回路と合わせて計画すると生活のストレスが軽減されます。

便利なコントローラースwitch

回路毎にスイッチで入り切りする事に慣れ親しんでますが、コントローラースwitchは、「シーン」で明るさを作ります。1番：朝食のあかり、2番：夕食のあかり、3番：団らんのあかり、4番：就寝前のあかり等、空間全体で最適化したシーンを作りボタンひとつでシーン呼び出すことが出来ます。スイッチもスッキリ。意外と価格も安価になり扱いやすくなりました。

ADVANCE SERIES

新 LED専用 壁取付 かってにスイッチ(2線式)

LED照明との適合性の高い2線式が新登場。正面検知が可能になり、設置場所がより自由になりました。

かってにスイッチ



組み合わせ自由自在

身の回りには「素材」が沢山あります。木、タイル、石、ガラス、金属、珪藻土等、表情も種類も沢山あります。更に、ドアの上枠やキッチンの足元、トイレのペーパーホルダーの下や長押の隙間に照明を仕込む手法もあります。また、素材そのものに照明を埋め込んで、面白いかも知れないですね。



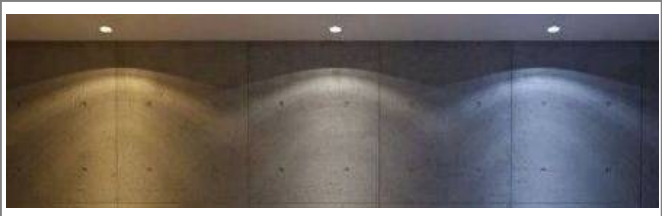
光りと相性の良い素材

光りと相性が良いのは凹凸がある素材。凹凸がなくても段差や隙間を作り照明を仕込むことも出来ます。少しざらざらした壁紙でも光の当て方次第で表情が変わります。



光りで創る素材の表情

光りの仕込み方や配光により、素材の表情は一変します。指向性の強弱、光りを仕込む場所や角度を操り、狙った表情を効果的に創り上げます。ある程度の経験値が必要になりますが、慣れてくると応用が効くようになります。



素材と組み合わせる

照明は「素材」を引き立てる立役者



LIGHTING WORKS
Proposal

LIGHTING WORKS

Proposal